

参加中学校

※参加人数はWSにより変動あり

- 築港中学校 美術部 (1チーム9人)
- 港中学校 美術部 (2チーム7人)
- 港南中学校 美術部 (2チーム10人)
- 市岡中学校 生徒会 (1チーム6人)
- 市岡東中学校 美術部 (1チーム11人)

ワークショップ WS 講師

まちな歩き-歴史学習

陸奥賢 (観光客・コンスズデザイナー・社会実務者)

1回目WSで天保山の歴史レクチャーや、天保山まつり当日のまちな歩きを担当。関西顔ハメ看板委員兼事務局長でもある。

ワークショップ-制作ディレクション

犬飼さえ (株式会社シカトキノ) 辻井彩乃 (株式会社シカトキノ)

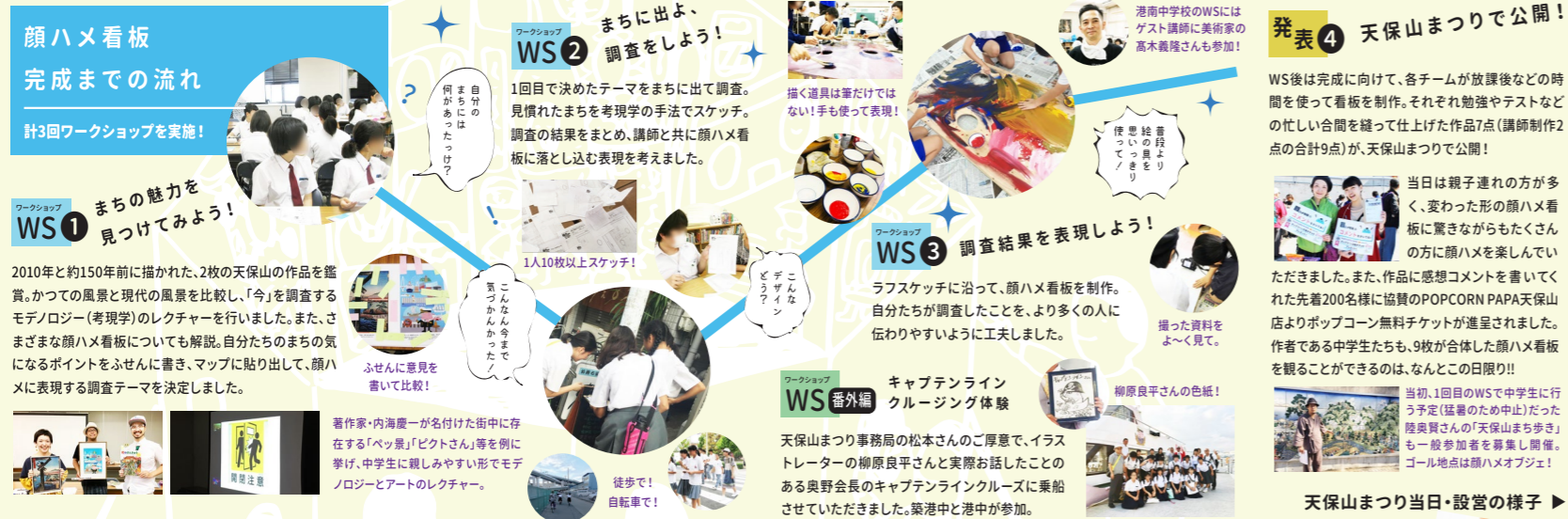
本事業の企画とディレクション、各WSでの講師を担当。アーティストとしても活動する2人が、アイデア豊富に中学生と向き合う。

体験型アート！ 前代未聞の顔ハメオブジェ

顔ハメ看板は一方的に「見る」だけでなく、「ハメる」という行動を通じて、主体的に関われるのが特徴です。そこであえて、絵を内側に向けて看板を円形に配置し、自分が何にハメているのかわからない構造に。天保山まつりで公開するため、「体験型アート作品」を意識しました。

モデロロジーとは？

モデロロジー(考現学)とは、考古学に対する造語で、現代の社会の風俗を、場所・時間を定めて研究し、分析・解析しようとする学問のことです。1930年に民俗学研究者の今和次郎が提唱しました。



WS実施スケジュール

1回目 各120分 7月30日(月) 港区役所5F会議室	2回目 各90分 ①8月23日(木) 港中学校	3回目 各90分 ①9月10日(月) 港中学校
①午前の部: 港南中学校・市岡東中学校	②8月31日(金) 港南中学校 ③9月6日(木) 市岡中学校	②9月12日(水) 港南中学校 ③9月13日(木) 市岡中学校
②午後の部: 築港中学校・港中学校・市岡中学校	④9月7日(金) 市岡東中学校 ⑤9月11日(火) 築港中学校	④9月14日(金) 築港中学校 ⑤10月1日(月) 市岡東中学校

番外編 | 60分 | 9月18日(火) 港中学校・築港中学校

天保山まつり | 10月28日(日) 10:00-17:00

生徒・先生の声

WS開始前と終了後に、生徒にアンケートを実施。「A.芸術文化への興味・関心」と「B.わがまちへの愛着・関心」の高まりを目標とする本事業の感想を聞いてみました。

WS前 回答40人 (未提出3人)

A.芸術文化への興味・関心 ある 37人 ない 3人

B.わがまちへの愛着・関心 ある 29人 ない 9人 無回答 2人

WS後 回答41人 (未提出2人)

A,Bともに、同一の結果

低まった 2.4%

高まった 70.8%

変わらない 26.8%

アンケートでは、70%以上の生徒から関心や愛着が高まったとの回答が得られました。今回経験した「考現学」で中学生たちがより面白い視点を持ち、今後アートやまちに関わってほしいと思います。

<p>築港中学校</p> <p>【生徒(一部抜粋)】●美術は固定概念にとらわれず自由に形にして表すことが大事だと思います。●違う学校の子たちとも一緒に1つの作品を作れたかったです。</p> <p>同い港区がテーマでも、それぞれ着眼点の違い、自由な発想で看板に表現しているのが興味深かったです。アイデアを出し合い取材し、協力して制作する中で成長し、完成の喜びも味わうことができ良かったと思います。</p> <p>金井美穂 先生</p>	<p>港中学校</p> <p>【生徒(一部抜粋)】●今まで見てきたあたりまえの町並みが少し違って新しく見えた。●住んでいる町のことがよく知れたし、それを看板として形にできたので良かったです。</p> <p>WSでは、生徒たちも新しい発見ばかりで、楽しんで看板制作していました。校内の活動では、大きくても画用紙サイズ程度の制作がほとんどだったので、今回の取り組みはとてもいい体験になりました。</p> <p>黒笹一憲 先生</p>	<p>港南中学校</p> <p>【生徒(一部抜粋)】●運くまで学校に残ったりして大変だったけど大作ができて達成感がありました。●このプロジェクトを通して、普段の生活で色んなものに目について、楽しかった。</p> <p>「顔ハメ看板？モデロロジー？」耳慣れないことにチャレンジした生徒たち。理解し、成長していきました。地域に目を向け、地域で育つことに感謝できるようになったのでは。</p> <p>子供たちが自由に意見をし、発想を広げていく様子が見られました。新たなものの見方や考え方が身についたように思います。</p> <p>開賢一 先生</p> <p>若見紗衣 先生</p>	<p>市岡中学校</p> <p>【生徒(一部抜粋)】●絵を描くことは好きではなかったし、自分に自信がなかったけど、少しだけ前向きになることができた。●すごく良い学びだった。後期もやってほしい。</p> <p>このような一大プロジェクトに、生徒会として参加させていただきありがとうございます。完成するまで不安でしたが、生徒たちも港区の魅力について、深く考えることができたと思います。</p> <p>岡崎裕介 先生</p>	<p>市岡東中学校</p> <p>【生徒(一部抜粋)】●もっと看板を増やして大きいイベントにしてみたい。●他の中学校のを見て、他の町のものもやりたくなった。●全てがinteresting☆</p> <p>生徒自ら進んで取り組み、市岡東は全員参加で1点に挑みました。テーマに「電柱」を選んだ所も、独特な視点で活きていると思います。また、アンケートの黄色のゼロファンは、生徒の発想の豊かさが良く出たと思います。</p> <p>宮本勇人 先生</p>
---	---	--	--	---



顔ハメ看板 記録集

平成30年度 海・川・港町・わがまち港区 I LOVEアートプロジェクト

主催 | 大阪市港区役所 企画・運営 | 株式会社シカトキノ 後援 | 一般社団法人 港まちづくり協議会大阪 協力 | 築港・天保山にぎわいまちづくり実行委員会、大阪市立中央図書館、ポップコーンババ天保山店、ターナー色彩株式会社 顔ハメ看板制作協力 | 株式会社ソレイユ、山本正勝、リーラボ・Re Lab- まちな歩きツアー企画コラボ | Base!!Osaka



A 港南中学校 美術部
公園チーム

《おもいで公園》

私たちは、公園をテーマに顔ハメ看板を制作しました。1人ずつ、1つのテーマでスケッチし、その絵を参考に、看板のデザインを考え、それを看板に描き写す予定だったのですが、あまりに複雑になってしまったため、シンプルなデザインを考えました。私たちが制作に一番時間をかけた場所は、花です。1つずつ描き、色などを考えて工夫したところなので、ぜひ見ていただきたいです。またこのような機会があれば挑戦したいです。

WS講師コメント
調査の直後、台風が襲い、公園の雰囲気が一変しました。「今」あるものを見て知り、表現することの大切さを実感させられる作品になりました。

お客様の感想 (抜粋)
●公園の時計の顔ハメはじめてました。インスタ映えです!! ●I had a good time!

B 市岡中学校 生徒会
赤丸食堂チーム

《赤丸坂46》

市岡中学校の校区内にある赤丸食堂です。市岡地区を代表する昔ながらの老舗です。海で働いている人たちの胃袋を支えるような料理が、たくさんあります。赤丸食堂の料理の多様さを表現するため、背景を複雑にし、顔を出す部分には名物である「天保山カツ」と「ごはんのマンガ盛り」を描きました。赤丸食堂の象徴である赤いのれんをくぐれば、温かい人や料理で溢れています。みなさんもこの看板から顔を出して温かさを感じてみてください。

WS講師コメント
唯一の生徒会での参加。素晴らしい観察眼、美的センスを持ち合わせているスーパー集団でした。赤丸食堂の空気感を上手に表現しています。

お客様の感想 (抜粋)
●子供の頃から赤丸大好きで、この看板が気に入りました。●おいしそう!!

C 港中学校 美術部
マンションチーム

《下町》

調査で、中学校付近のマンションの1階にヘアサロンが多いことを発見しました。調査中に会ったヘアサロンの店員さんを顔ハメ部分に描いています。いつも美術室でしか活動してなかったのが、学校から外に出て調査するワークショップがとても貴重な経験になりました! また、大きなものを皆でつくるという活動でチームワークを育てることができました! ソーシャルボンド(社会の絆)の港中学校にふさわしい作品ができたと思っています。

WS講師コメント
「マンション」というテーマながら、ヘアサロンに注目した柔軟さに中学生らしい良さを感じます。一生懸命スケッチしたマンションもしっかり描けていて良いです。

お客様の感想 (抜粋)
●うちのおばあちゃんが入ったらめっちゃいかにんじでした。●親子で楽しめそう!

D 築港中学校 美術部
駄菓子屋チーム

《昭和の駄菓子屋あきさまるさん》

私たちは昔懐かしい駄菓子屋をテーマに、パネルを作りました。夏に校区内の2軒の駄菓子屋さん取材しました。お店の方は親切に、温かく迎えてくださいました。店内にはたくさんの種類のお菓子や飲み物があり、とてもカラフルでした。中には自由にもらえるものなどもありました。また子どもが安全に、楽しくお菓子を選べるような工夫もありました。その中から楽しいパネルにしよう、みんなでアイデアを出し合い、協力して作りあげました。

WS講師コメント
子ども達への愛が溢れる店主さんたちの手書きの貼り紙を描き込んでいるのが特に良いです。また、カラフルな下地もうまく活用しており、絵の深みを出しています。

お客様の感想 (抜粋)
●子供のかわいい写真がとれました。●のすたるじくでとてもステキでした!

E 港南中学校 美術部
神社チーム

《神社、それぞれの個性》

私たちのチームは、神社をテーマに顔ハメ看板を作りました。調査したのは三津神社と三先天満宮。各神社の方に神社の歴史などを教えていただき、写真を撮って学校に戻り顔ハメ看板を作りました。パネルの中には各神社の特徴を取り入れ、三先天満宮の寝牛、三津神社の鈴やきつねを描いています。きつねの顔に港区のキャラクターである「みなりん」を入れました。講師の方にも協力していただき、素晴らしい作品に仕上がりました。

WS講師コメント
看板の色々の雰囲気や神社らしさが出ており、とても良いです。顔をハメると各神社の紋章の一部となれるアイデアはナイスです! みなりんも動物なのかな!?

お客様の感想 (抜粋)
●顔を出すところが工夫であっておもしろかった。●三津、天満宮が港区らしい。

F 株式会社シカトキノコ
WS講師チーム

《顔ハメモデロジーズ》

本プロジェクトの事業者であるシカトキノコは、WSで交流した中学生たちを調査対象としました。中学生たちが、大きな看板へ初めて絵の具を乗せ、写真を撮って学校に戻り顔ハメ看板を作りました。筆を振りかぶるパターンに顔ハメをして、あなたも顔ハメモデロジーズに入団しませんか!?

WS講師コメント
看板の色々の雰囲気や神社らしさが出ており、とても良いです。顔をハメると各神社の紋章の一部となれるアイデアはナイスです! みなりんも動物なのかな!?

お客様の感想 (抜粋)
●顔を出すところが工夫であっておもしろかった。●三津、天満宮が港区らしい。

G 港中学校 美術部
ポストチーム

《マコちゃん》

調査では、ほとんどのポストに小窓がある事に気づき、その小窓から顔を出すため、ポストを斜めに描く、大胆な構成にしました。商業ビルのポストに「マコちゃん」と書いてあったのを見て、そのラフさに惹かれ大きく描いています。その下は壁埋め込み型のポストです。他にも街灯風独立型、シャッター埋め込み型と、種類別に名前を付けられるほど色々なタイプがありました。ちなみに、港中のポストは埋め込み型で、大きく立派でした。

WS講師コメント
シンプルで大胆な、面白い看板だと思えます。色々なタイプの小窓を見つけ、その中から上手く顔ハメに合うものを用いて構成したアイデアが素晴らしいです。

お客様の感想 (抜粋)
●他と違いぶどうの形で印象的。●工夫をこらしてすばらしい!

H 市岡東中学校 美術部
電柱チーム

《夕焼けTraffic Light》

こんなにも電柱を見るのは、人生で最後かも知れません。普段目に入る物なのに、あんな所にラグガキが! とか、ゴミ箱メッチャアじゃん! とか、ワクワクして楽しかったです。この顔ハメ看板の活動で、物の見方が変わりました。今まで気にもしなかった「背景」や「ピクトさん」もこんな所に! と興奮したり、マンホールの形が気になったり、みんなと、この電柱イネ! ってワイワイ楽しく作品を作り上げ、人生観が変わる良い経験させていただきました!!

WS講師コメント
誰かの作為で付けられた落書きや、物の置き場を、細かく採集して描かれています。黄信号の顔ハメに合うものを用いて付ける手法は個性的で素晴らしいです。

お客様の感想 (抜粋)
●セロファンアイデアは景色が変わって楽しかった。●色使いがキレイ。

企画概要

大阪市港区内の中学校5校の美術部・生徒会の生徒に美術のワークショップをおこない、港町であるわがまちへの愛着や誇りを育むとともに、それらの地域資源をアートで表現する喜びを体験することで芸術文化への感性を育むことを目的としています。「顔ハメ看板モデロジーズ」では、モデロジーズ(考現学)の手法を用いて港区の「今」を調査し、それをテーマに顔ハメ看板を制作。「第11回天保山まつり」にて、円形に配置した顔ハメオブジェとして展示発表します。

作品記録

記録集がミニ顔ハメに!